



三鷹市

星と森と絵本の家

Mitaka Picture Book House in the Astronomical Observatory Forest

2024

回廊ギャラリー展示
絵本作品公募
受賞作品

『灯台守とホシカモメ』
ゴダード・エレナ 作



『きつねと
わたしとおつきさま』
おのかつこ 作



『ポラリス Polaris』
りょう 作



『おほしさまがきた』
オイスターズ 作



『星をみにいくまえに』
Mari 作



『月のこよみレストラン』
柚木万由子 作



優秀作

『灯台守とホシカモメ』

ゴダード・エレナ（東京都）

作品について

この物語は、迷子になったカモメに星座を使って、家族のもとに戻る方法を教える灯台守のお話です。

作者紹介

ゴダード・エレナ
2018年よりチリのアーティストとして活動。昨年、来日。チリでは絵画教室の教師として働いており、故郷であるサンティアゴの図書館では、初めての個展も開催。私の作品を多くの人に見てもらいたいです。



この世界の南側で、一人の灯台守が仕事をしながら星空を眺めるのを楽しんでいました。



「南十字星を超えた後は、犬とペガサスが導いてくれるでしょう。」と、灯台守は言いました。



「そして北斗七星が見えたら、



家族が見つかるでしょう！」

優秀作

『きつねとわたしとおつきさま』

おのかつこ（東京都）

作品について

満月の夜に女の子が森できつねと出会いました。そこにたぬきがあらわれたり、おおかみに見つかってしまったり、不思議で楽しい夜を過ごします。ふとしたときに、きつねがおつきさまについて語りました。物知りのきつねに女の子は驚きました。

作者紹介

おのかつこ
武蔵野美術大学卒業後、ステーションリーの企画デザイナーを経てフリーに。2009年より銅版画をはじめ、雑誌の表紙、童話集の挿絵などを銅版画で制作してきました。色は手彩です。絵本に「ふかふか」「つきのよるはさわがしい」（国土社）があります。第5回 FEI PRINT AWARD オーディエンス賞受賞。第12回武井武雄記念日本童画大賞 審査員特別賞受賞。



「森のよるって、もっとしずかだとおもっていたわ」「ま、秋だし、まんげつだしね」



「ぼくらのほらだいこは、みごとだってひょうばんだよ。ぼーんって、きもちのよい音なんだ」



「なんだ。おまえたちは」おおかみに見つかってしまいました。



「いいえ、にんげんではありません。たぬきがばけているのです」きつねがしらじらしくこたえました。

優秀作

『ポラリス Polaris』

りょう（神奈川県）

作品について

いつも同じところにいる北極星のお話です。「どこかに出かけてみたいなあ」と思う毎日。するとある日、チャンスが訪れます。そして出かけ先での出会いを通して大切なことに気がきます。

作者紹介

りょう
航海士。船のお仕事と「つくる」をテーマに絵本、イラスト、写真、図画工作などを行っています。作品を通して、みなさんと楽しい時間を過ごしていきたいです。
cookpad お料理絵本コンテスト 大賞受賞。



優秀作

『おほしさまがきた』

オイスターズ（東京都）

作品について

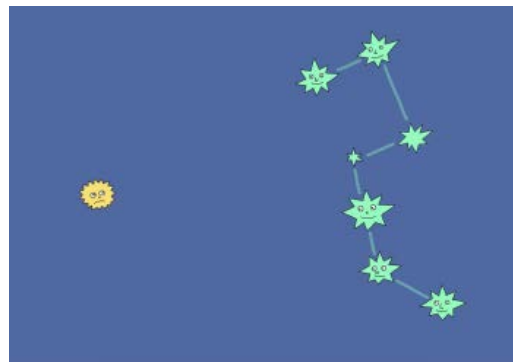
星はなぜ「★」と描くのか不思議に思って調べたところ、古代エジプトで描かれたヒトデの形がルーツだと知りました。そのことに宇宙と星と水のつながりを感じ、このお話が生まれました。物語は、汚れたおほしさまがお風呂場に入ってくるところから始まります。キラキラな体に戻りたいおほしさまのため、体の洗い方を教えてあげるたろうくん。二人のやりとりや、お風呂と宇宙が一体となっていく様子を楽しんでもらえたらと思います。

作者紹介

オイスターズ
漫画家、イラストレーター、ライターによる3人組ユニット。2023年に結成。最初に作った絵本は冷凍庫でカチカチになった油揚げが登場する『あげダンディ』。今作は2作目。



「じゆうに うごいてみたいよ。」



ほくとしちせいが からかいます。「こんやも でかけないのかい？」



「でかけて おいで。」



さまざまな であいが まっていました。



まずは からだを あらわなきゃ！



おほしさま わき おおいね



おほしさま つまさきも おおいね



わがはい そろそろ あがるぞ

優秀作

『星をみにいくまえに』

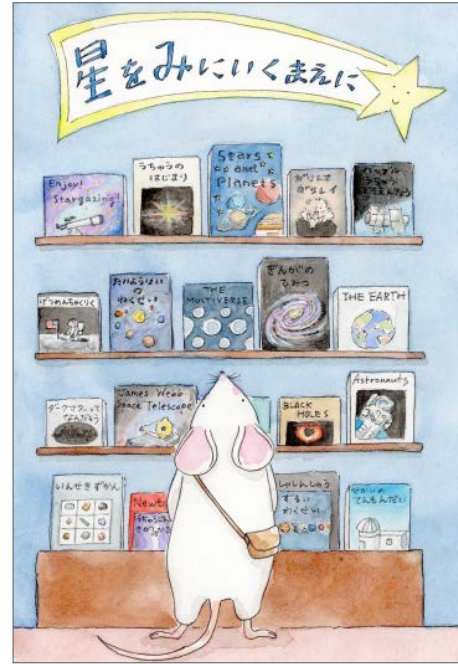
Mari (東京都)

作品について

ある日、ふと、気になり始めた宇宙。もっと近づきたくて、暗い中、ひとり出発します。勇気を出して、一歩ふみ出せば、楽しい事が起こるかも。というお話です。

作者紹介

Mari (マリ)
宇宙に関するニュースには、いつもワクワクさせられています。絵は、描くのも見るのも小さな頃から大好きで生活の一部です。夫とふたり、季節の移り変わりを楽しみながら武蔵野市で暮らしています。



星をみにいくまえに
まずは じょうほうしゅうしゅう

これも ないとね



くらくなるまで まだ あるなあ



くらくなるまで よしゅうしたり じゅんびしたり



そろそろ しゅっぱつ!

優秀作

『月のこよみレストラン』

柚木 万由子 (東京都)

作品について

月の満ち欠けに合わせて献立を考える森のシェフのお話。色々なお客さんがシェフのご飯を食べにやってきます。日本に昔からある旧暦、月の暦を題材に、団欒の風景を描きました。

作者紹介

柚木 万由子 (ゆきまゆこ)
武蔵野美術大学卒業 グラフィックデザイナー/イラストレーター
絵本を描くのは長年の夢でした。やっと一歩を踏み出した思いです。今回をきっかけに月の満ち欠けを学び直し、理解を深めることができました。私たちと月と太陽の関係に思いを馳せながらこの絵本を描きました。



栗名月 よいしょ ペったん おもちつき



「いらっしゃいませ」 こんやは お月見
くりだんごは シェフとくせい くりあんいり



おつかれんこん
月見うどん つるつるん
満月 こうこう スーパームーン
おきやくさんが おかえりです
「またきてね」

公募について

三鷹市星と森と絵本の家では、星や月などの「天体」や、広く「宇宙」をテーマにした未発表の絵本作品を公募し、受賞作品の原画展を行っています。

令和6年4月に募集した「第11回三鷹市星と森と絵本の家回廊ギャラリー展示絵本作品公募」では、個性あふれる76作品の応募があり、選考の結果、優秀作として6作品が入賞しました。

展示スケジュール

『灯台守とホシカモメ』ゴダード・エレナ	2024年7月7日(日)～9月9日(月)
『きつねとわたしとおつきさま』おのかつこ	9月11日(水)～11月4日(月)
『ポラリス Polaris』りょう	11月6日(水)～2025年1月6日(月)
『おほしさまがきた』オイスターズ	1月8日(水)～3月3日(月)
『星をみにいくまえに』Mari	3月5日(水)～4月28日(月)
『月のこよみレストラン』柚木 万由子	4月30日(水)～6月30日(月)

選考委員

- 広松 由希子 氏 (絵本家)
- 縣 秀彦 氏 (国立天文台)
- 小谷 奈保子 氏 (みたか・子どもと絵本プロジェクト連絡会代表)
- 梅澤 尚子 氏 (おとな絵本ラウンジ代表)
- 三鷹市星と森と絵本の家 館長

三鷹市星と森と絵本の家

住所：〒181-0015 三鷹市大沢2丁目21番3号 国立天文台内

電話：0422-39-3401 ファックス：0422-39-3402

開館時間：午前10時～午後5時

開館日：火曜日、年末年始、他にメンテナンス休館あり

アクセス：JR武蔵境駅、JR三鷹駅、京王線調布駅よりバスで15～20分

「天文台裏」または「天文台前」下車

URL：<https://www.city.mitaka.lg.jp/ehon/>